

三重県消防操法大会に出場

7月19日（土）に三重県消防学校で開催された、三重県消防操法大会の小型ポンプの部に朝日町消防団（第1、2分団）が出場しました。

選手達は、4月中旬から大会当日までの間、厳しい練習に耐えながら小型ポンプの敏速な操作技術を磨いてきた成果を十分に発揮することができました。

今回の身に付いた技術は、今後の火災現場での消火活動時に十分発揮していただけると思います。



操作前の緊張の一瞬!!



操作～始め!!



筒先員交代!!

防災講演会の開催（朝日町文化フォーラム）

近年、私たちを取り巻く現代社会環境は、多種の自然災害が発生しやすい条件下にあるうえ、危険物等の社会的条件をあわせもっており、災害の根絶には限界があると考えられます。

このため、災害被害の拡大を最小に食い止めることや、「自分の身は、自分で守る」という自助はどの要因においても欠かせないものであり、日頃から個々の防災に対する「意識、知識」の向上と、地域一体となった「組織」の向上と発展を推進することを目的として、講演会を開催します。

- 1. 日 時 8月31日（日）午前10時～
- 2. 場 所 保健福祉センター 多目的ホール
- 3. 参加対象 朝日町民（ご近所をお説きご参加ください。）
- 4. テーマ 「自分を守るための減災！」
- 5. 講 師 元三重県防災啓発員 野崎 裕 氏
- お問い合わせ先 総務税務課 377-5651



シリーズ／教育委員会だより

「見える学力」と「見えない学力」

みなさんは、海に浮かぶ氷山が、氷山全体のどれくらいの部分見えているかを知っていますか。ある本によれば、全体の7分の1だそうです。大部分は、海面下にあります。また、大輪の花を咲かせたり、豊かな実をつけたりする植物は、肥沃な土壤に強靭な根を張っています。学力もそれらと同じで、「見える学力」と「見えない学力」があるのです。「見える学力」は、テストなどで計測ができる学力です。この「見える学力」は、土台としての「見えない学力」に支えられています。

では、「見えない学力」とは、どのようなものでしょう。

「見えない学力」は、学校の成績と必ずしも直結していません。といっても、まったく無関係ではなく、むしろそれを支え、それを超えたもので、その子の全人格的な能力の基礎をつくるものです。したがって、この「見えない学力」をいかに豊かに育てていくかが子どもの成長にとってとても重要になってくるのです。

さて、その豊かさをつくる要素の一つが「先行体験」といわれています。

子どもたちは、日々の生活の中で実際に様々な体験をしています。小学校3・4年生ぐらいまでの子どもは、園や学校で新たな学習をしたとき、これまでの先行体験と結びつけて判断力や理解力、記憶力をはたらかせて学習していきます。そのため、先行体験が豊富であれば実感の伴った学習になり、確実な理解へつながります。

夏休みはこの先行体験ができる絶好の機会です。といっても、何も特別なことをやるわけではありません。体を動かしてしっかり外遊びをしたり、家で家事の役割をしっかり果たしたりする中で、子どもたちは貴重な体験を重ねていきます。そして、子どもたちの体と心と頭が豊かに成長していくのです。

暑い夏ですが、暑さに負けず、子どもたちが元気に充実した毎日を過ごしてくれることを願っています。